事業所名	風の子びれっじ鎌倉　単位1（風fuu）	支援プログラム	作成日	令和６ 年	12 月	1 日

法人（事業所）理念	「Happy　for　all」全ての人たちをハッピーにするのではなく、全ての人たちと共にハッピーになる.幸福感は人にによって感じ方も違い、他人から押し付けられるものでもありません。また、幸福感の持続性も人によってまちまちですし、全ての人の感じ方は変化していくものです。それらを踏まえて尚、一緒にハッピーになるという理念は、航海の羅針盤とする価値がある事だと考えます。											
支援方針	年齢や発達に合わせた生活スキルの獲得、社会性の育ちをサポートします。 曜日ごとに活動内容を変え、それぞれの得意なこと、苦手なことにアプローチしていきます。											
営業時間		9	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり（送迎を希望の方は応相談の上、対応いたします）	
プログラム	支　援　内　容											
本人支援	はじまりの会・かえりの会	手洗い・検温を行い、健康管理を行います。はじまりの会では一日のスケジュールを確認し、見通しを持って安心して生活できることを目指します。かえりの会では司会や発表者の役割を担い、言語やジェスチャーでの表出や相手の話を聞くことなどの社会性を育みます。＜健康・生活／言語・コミュニケーション／人間関係・社会性＞										
	創作クラブ	ハサミや描画等の微細運動、粘土や様々な素材に触れる感触あそびを行いながら五感を刺激し、手指の機能向上を促します。＜運動・感覚＞										
	ルール遊び/ムーブメント	ルール性のある集団あそびを通して、コミュニケーションを取りながら、ルールや順番を守ることやチームでの連携、勝敗の受け入れなどの社会性を養います。特性や年齢によるグループ分けに配慮し、皆が楽しく参加できることを目指します。共同でのパラバルーンでは他者の動きや力の加減に気を付けて、みんなで取り組むことによる達成感を味わいます。＜認知・行動／人間関係・社会性＞										
	クッキング	手順の理解、計量や食材に触れる事などおやつ作りや昼食作りを通して調理の過程を経験し、生活スキルの向上を図ります。また、食育の場としてみんなで作ったものを食べる楽しさを味わい偏食へのアプローチも行います。エプロンの紐を結んだり、畳んだりするスキルや食器の片づけ等も取り入れます。＜健康・生活＞										
	音楽・実験クラブ	音楽に合わせた動き（即時反応・ダンス等）で判断力や表現力、リズム感を養い、歌や楽器あそびでは、音への集中、聞き分けを促します。＜運動・感覚＞ 実験では身近な材料で色や音、形、動きなどの物質等の変化の過程を見ていくことで、好奇心を育んでいきます＜認知・行動＞										
	運動クラブ	粗大運動（ボール、サーキット、縄跳び、ヨガなど）を通して体幹、バランスを整え、力の加減など身体の使い方をサポートします。約１か月間同じあそびをステップアップしながら取り組み、動きを定着させていきます。＜運動・感覚＞										
	おでかけ・お買い物等	動物園や水族館、科学館、カラオケ、飲食店などへのお出かけを行い、公共の場での過ごし方を学び、事業所外の人との関わりを持つ場を設け、社会性を育みます。お買い物では発達段階を鑑みて支払いや注文などの体験も行っていきます。＜人間関係・社会性/認知・行動＞										
家族支援	①本人の発達について②支援内容について③家庭生活について④集団生活について⑤兄弟・姉妹との関わりについて⑥制度について、家族のニーズに応じ、、①から⑥などの相談援助を実施したします。また、茶話会を実施し、保護者同士の結びつきを強化する場を提供します。									移行支援	進学、事業所クラスの移行に向けての連携や、学校等での安定した生活に向けて、情報共有、支援方法の共有を行っていきます	
地域支援・地域連携	教育・行政・医療といった各関係各所と連携し、包括的に支援を行います。SNSの積極的な活用により、地域に活動内容や障がいについての理解を広めます。海部南部障害者自立支援協議会に参加し、事例検討などを通じて地域課題への理解を深めます。									職員の質の向上	サポーターズカレッジ（動画研修）：障がいや制度についてなどを毎月学びます。 K.college:虐待防止および身体拘束適正化に向けた研修、感染症予防についての研修、非常災害対策に関する研修、外部講師を招いて支援者のスキルアップの研修を行います。	
主な行事等	年に2回の風の子学園祭の開催 水あそび、夏祭り、クリスマス会、ハロウィンイベント、誕生日会などの季節の行事,避難訓練											